

# 慶應義塾医学部新聞

発行所 三四会医学部新聞編集室  
〒160-8582 東京都新宿区信濃町35  
電話(3535)1211 内線64996  
会員については会費を請求する  
発行日 毎月1回20日発行



信濃町駅前・各種診療  
慶應義塾大学病院  
外来診療時間(午前9時～午後5時)  
電話 03-6349-1111 (内線64996)

# 第28回慶應医学賞受賞者決定

## 医学・生命科学の発展に 寄与した2人の研究者が受賞

慶應医学賞は、世界の也(同医学部微生物学)と、野田博生(公益財団法人がん研究会代表理事・常務理事)が、がん研究の発展に寄与する功績を認め、2023年度の慶應医学賞を受賞した。受賞者は、京都大学大学院理学研究科教授の森和俊博士と、カリフォルニア大学サンディエゴ校教授のNapoleone Ferrara, M.D.である。



森和俊博士  
京都大学大学院理学研究科  
生物物理学教室ゲノム情報分野 教授



Napoleone Ferrara, M.D.  
カリフォルニア大学  
サンディエゴ校 教授

慶應医学賞は、世界の也(同医学部微生物学)と、野田博生(公益財団法人がん研究会代表理事・常務理事)が、がん研究の発展に寄与する功績を認め、2023年度の慶應医学賞を受賞した。受賞者は、京都大学大学院理学研究科教授の森和俊博士と、カリフォルニア大学サンディエゴ校教授のNapoleone Ferrara, M.D.である。

## 次期病院長に松本守雄教授(整65回)が再任



病院長 松本守雄君(65回)  
整形外科学教室教授

2023年5月30日、平塾長(推選)が、第1回病院長選任委員会を開催された。その後の候補者選考を経て、8月8日の第2回病院長選任委員会において、松本守雄君が再任された。松本君は、2017年から2022年まで、病院長の任に就き、病院長としての責任と役割を十分に果たされた。松本君は、病院長としての責任と役割を十分に果たされた。松本君は、病院長としての責任と役割を十分に果たされた。

## 学長就任 埼玉医科大学学長に就任して 勤(59回)



埼玉医科大学学長 竹内勤(59回)

2023年8月1日、竹内勤氏が、埼玉医科大学の学長に就任された。竹内氏は、医学部教授として、がん研究の分野で顕著な業績を挙げ、2019年から2022年まで、学長として、大学の発展に貢献された。竹内氏は、学長としての責任と役割を十分に果たされた。竹内氏は、学長としての責任と役割を十分に果たされた。

## 国際医学研究会(I.M.A.) 第46次派遣団活動報告書



第46次派遣団一同(ボツカツにて、左から山田、北野、南澤、魚津)

国際医学研究会(I.M.A.)は、1977年に設立された国際的な医学研究の推進を目的とする団体である。設立以来、国際的な医学研究の推進に貢献してきた。第46次派遣団は、2023年11月9日(木)に北里記念医学図書2階北里記念講堂にて授賞式を開催した。授賞式には、山田洋平(会長)、北野大晟(副会長)、南澤利咲(事務局長)、魚津洋平(総務部長)が出席した。授賞式には、山田洋平(会長)、北野大晟(副会長)、南澤利咲(事務局長)、魚津洋平(総務部長)が出席した。

授賞式には、山田洋平(会長)、北野大晟(副会長)、南澤利咲(事務局長)、魚津洋平(総務部長)が出席した。授賞式には、山田洋平(会長)、北野大晟(副会長)、南澤利咲(事務局長)、魚津洋平(総務部長)が出席した。授賞式には、山田洋平(会長)、北野大晟(副会長)、南澤利咲(事務局長)、魚津洋平(総務部長)が出席した。

授賞式には、山田洋平(会長)、北野大晟(副会長)、南澤利咲(事務局長)、魚津洋平(総務部長)が出席した。授賞式には、山田洋平(会長)、北野大晟(副会長)、南澤利咲(事務局長)、魚津洋平(総務部長)が出席した。授賞式には、山田洋平(会長)、北野大晟(副会長)、南澤利咲(事務局長)、魚津洋平(総務部長)が出席した。

授賞式には、山田洋平(会長)、北野大晟(副会長)、南澤利咲(事務局長)、魚津洋平(総務部長)が出席した。授賞式には、山田洋平(会長)、北野大晟(副会長)、南澤利咲(事務局長)、魚津洋平(総務部長)が出席した。授賞式には、山田洋平(会長)、北野大晟(副会長)、南澤利咲(事務局長)、魚津洋平(総務部長)が出席した。

### 慶應医学賞 ライジング・スター賞 候補者募集

2023年度 坂口光洋記念 慶應義塾医学振興基金 医学研究奨励事業

公募内容 慶應医学賞 ライジング・スター賞 2件(1賞につき副賞として100万円授与)  
対象課題: 自由

審査基準  
・過去数年間に医学の領域において顕著な業績を挙げた研究者  
・卓越した業績を有すること、および、候補者が指導性をもって研究体制を構築し、活動を行っていることを重視する

対象者  
・博士号を有する、またはそれに相当する業績があること  
・対象者は慶應義塾大学医学部三四会員または慶應義塾大学医学部に所属する者  
・三四会員資格については <http://www.sanshikai.jp/gaiyou/kaisoku.html> 会則第6条2項を参照  
・過去に医学振興基金医学研究奨励賞または慶應医学賞 ライジング・スター賞を受賞した者は応募不可ただし、過去に落選した者の再応募は差し支えない  
・2023年9月1日時点で45歳以下(但し、ライフイベント等の考慮すべき事情がある場合はこの限りでない。申請書「3.備考欄」に記載のこと)  
・推薦者は自薦・他薦ともに可。他薦の場合、同一推薦者から複数名推薦可能

申請書類・申請方法  
① 慶應医学賞 ライジング・スター賞 申請書(所定様式)  
② 推薦書(他薦の場合のみ提出)(所定様式)  
③ 医学誌に掲載された論文数一覧(2019年~2023年)(所定様式)  
④ 主要論文別刷1編  
申請書「6.研究業績(2019年~2023年)」欄において「主要論文」として印をつけた1編の別刷

医学振興基金ホームページから募集要項をご確認のうえ、所定様式①ならびに②をダウンロード、オンラインフォームに入力の上、必要書類をアップロードして提出してください。  
医学振興基金ホームページ <https://www.ms-fund.keio.ac.jp/shorei/>

★締切: 2023年10月18日(水) 正午

当基金の医学研究奨励事業委員会が審査、結果は2023年12月上旬頃に通知します。また、2024年1月5日(金)の医学部新年祝賀式において受賞者の表彰ならびに、別途、受賞記念研究発表会を開催します。

お問い合わせ: 医学振興基金事務局  
E-mail: [k-mst@adst.keio.ac.jp](mailto:k-mst@adst.keio.ac.jp) Tel: 03-5363-3609  
〒160-8582 東京都新宿区信濃町35番地 (2号館8階)

## 皮膚知来

皮膚は、感覚、冷感、温感、痛みの知覚神経終末があり、触れた瞬間にそのすべてを感じて、その感覚を脳に伝える。その感覚を脳に伝える。その感覚を脳に伝える。

皮膚は、感覚、冷感、温感、痛みの知覚神経終末があり、触れた瞬間にそのすべてを感じて、その感覚を脳に伝える。その感覚を脳に伝える。その感覚を脳に伝える。

皮膚は、感覚、冷感、温感、痛みの知覚神経終末があり、触れた瞬間にそのすべてを感じて、その感覚を脳に伝える。その感覚を脳に伝える。その感覚を脳に伝える。

皮膚は、感覚、冷感、温感、痛みの知覚神経終末があり、触れた瞬間にそのすべてを感じて、その感覚を脳に伝える。その感覚を脳に伝える。その感覚を脳に伝える。